

最新の文化財情報トピックス

◎ 神宮の所有する国指定史跡旧林崎文庫が国・伊勢市から補助金を受けて、史跡内の建物などを修理しています。裏面で詳しく紹介します。

◎ 「御師制度廃止150年記念伊勢の御師フォーラム2021 御師に学ぶまちづくり～衣×食×住×学×遊～」と題して、今年11月まで伊勢市内で様々なイベントが行われています。

宮川堤と桜たより

1 令和2年度から、名勝宮川堤の構成要素を紹介する案内板を設置しています。昨年度設置した案内板は下記のとおりです。今年度は、4件の案内板を設置する予定です。

2 宮川堤の総合案内が度会橋東詰め広場の東屋に設置されています。これらの案内板に注目することで、宮川堤をより詳しく知ることができます。

【令和2年度設置案内板】

6つの案内板を新しく設置しました！



宮川堤には、洪水時などに水の流れを弱めて本堤を守るための水芻（みずはね）堤が4本残されています。図中黄色の堤が水芻堤です。

中島学区まちづくり協議会の周辺整備により、きれいになりました。

松井孫右衛門の人柱伝承についても紹介しています！



出典：平成29年度写真地図データ（三重県市町総合事務組合）

国史跡 旧林崎文庫史跡等総合活用整備事業について

旧林崎文庫は伊勢神宮内宮にある宇治橋の西方に位置し、貞享4年（1687）に宇治会合大年寄により創設され、文政4年（1821）に現在の地に移されました。旧豊宮崎文庫と同様に神職子弟の修学の場、図書館としての機能をはたしました。昭和29年（1954）に国史跡に指定され、現在、史跡内には講堂・控室・書庫・表門・通用門・土堀などが残っています。

令和元年度より国・伊勢市から補助金を受けて、史跡内の建物などの修理を実施しています。今年度は講堂・控室・書庫の耐震補強工事と屋根の修理などを行っています。来年度は、史跡内の石碑の覆屋の修理と排水整備などを実施する予定です。整備された旧林崎文庫を見るのが楽しみです。



【修理工事の様子】(画像: 神宮司庁提供)

御師制度廃止150年記念 伊勢の御師フォーラム2021について



【展示会場】

今年は、御師制度廃止から150年の節目にあたるため、「御師制度廃止150年記念伊勢の御師フォーラム2021 御師に学ぶまちづくり～衣×食×住×学×遊～」と題して、4月から11月にかけて伊勢市内の会場で、講演会・展示会・まち歩きなどのイベントが行われています。

当課でも7月6日から8月1日の期間で、伊勢古市参宮街道資料館において企画展「文化のつば ISE—御師の絵画—」を開催し、多くの見学者がありました。また、7月25日には山中一孝氏（豆腐庵山中代表取締役）による「文化人御師の実像」と題した講演会が行われ、20人の受講者がありました。展示会や講演会を通じて、御師たちが育ててきた文化の一端を紹介する事ができました。今後とも御師に関する企画展などを通して、伊勢市の歴史文化の情報発信を続けていきたいと考えています。

史跡名勝・埋蔵文化財の保護について



【国指定名勝二見浦「夫婦岩」】

史跡名勝の範囲内や埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内で開発する際には、文化財保護法により届出が必要です。開発を行う場所が史跡名勝の範囲内か埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内に位置するか事前に確認してください。

事前確認は、伊勢市情報戦略局文化政策課あてに開発場所を記した位置図をお送りください。史跡名勝の範囲内か埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内かどうか確認し、回答させていただきます。文化財の保護のため、皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

ご不明な点は、下記の連絡先までご相談ください。